

CURIOUS MINDS

発行: せんだい若者サポートステーション
〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目12-12
TEL: 022-246-9685 FAX: 022-246-9691
Mail: info@saposute.ne.jp
URL: http://www.saposute.ne.jp

平成21年10月 第25号

*せんだい若者サポートステーションは、厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備事業」です。
「社会へ一歩踏み出す」「働く」など、“これから”と一緒に考えていきましょう。

～“curious minds”の願い～

“curious”とは、「好奇心のある」の意味。せんだいサポステは、好奇心(=楽しみを見出す力)を大切に考えています。
せんだいサポステに集まる若者も、一人ひとりが素敵な好奇心の持ち主。その好奇心を輝かせ、自分の未来に向かって歩み出していこう、
という思いで、この広報紙を“curious minds”(キュリアス・マインズ)と名付けました。

活動のご報告、そして今後のイベントのご案内等を、コンパクトにまとめてお伝えします。

せんだいサポステinformation

大型フォーラムのご案内

「履歴書に書けない空白の時間」

にも意味がある!!
～若者からのメッセージ～

11月7日(土)13:30～16:00
仙台市福祉プラザ1F プラザホール

せんだい若者サポートステーションでは、本年度もNPO法人わたげの会と合同で、大型フォーラムを開催します。

今回は、映像や生の声を中心に、活動内容や若者の想いをより分かりやすくお伝えします。

【第1部】基調講演『親の役割・心構えについて』

～これまでのわたげの歩みを通して～

【第2部】事業概要紹介

有限会社キャッツハンド、せんだい若者サポートステーション

【第3部】VIDEOメッセージ+ライブトーク

- ①社会に飛び出した若者からのビデオレター
- ②いま羽を広げようとしている彼らの声

昨年12月の合同フォーラムには、130名を超える多くの方にお集まり頂いた上、「具体的でわかりやすかった」との声を頂き、ありがとうございます。そこで今回のフォーラムでは、社会へ踏み出した若者のみならず、いま羽ばたこうとしている若者の思いを、よりダイレクトにお届けします。

表題の『履歴書に書けない空白の時間』とは、いわゆる「社会から遠ざかっていた期間」を指します。仕事を意識し始めた若者は、「面接で『この間何してたの?』と聞かれたら、どう答えていいかわからない…」という大きな不安を抱えています。そして動き出すうちに、自分でその答えを見つけ出していきます。第3部では、“動けなかった時期の葛藤”“親への想い”“仕事へ向けての想い”を中心に、若者本人からお話をしてもらいます。

お忙しい時期かとは思いますが、是非とも皆さま、足をお運びください。

出前相談会のお知らせ



～10月・11月の予定～



終日(10:00～16:00)、個別相談会を行います。電話でご予約の上、おいで下さい。

(仕事の紹介・斡旋ではありません)

- ◎ 11月10日(火) 仙台保健福祉事務所塩釜総合支所(塩釜保健所)
(塩釜市北浜4丁目8-15 TEL 022-363-5502)
- ◎ 11月17日(火) 仙台保健福祉事務所黒川支所(塩釜保健所黒川支所)
(黒川郡富谷町ひより台2丁目42-2 TEL 022-358-1111)
- ◎ 12月8日(火) 大河原合同庁舎
(柴田郡大河原町字南129番1号 TEL 0224-53-3111)
- ◎ 12月22日(火) 仙台保健福祉事務所岩沼支所(塩釜保健所岩沼支所)
(岩沼市中央3丁目1-18 TEL 0223-22-2188)

<対象となる方>

- ・「仕事をしなきゃとは思っているけれども、何から始めていいかわからない」というご本人
- ・「本人の力になりたいが、どう接すればよいか…」とお考えのご家族の方など

是非足をお運びください

道は必ずあると思います。
この出前相談会がそのきっかけになれば、幸いです。

※詳細は、せんだいサポステ(022-246-9685)までご連絡を頂るか、ホームページ(<http://www.saposute.ne.jp>)をご覧ください

バックナンバーは
ホームページで

“curious minds”のバックナンバーが、せんだい若者サポートステーションのホームページからダウンロードできます。もちろん、最新号もその都度アップしていきます。是非とも、ホームページ版もご活用ください。

せんだい若者サポートステーションURLは、<http://www.saposute.ne.jp>

いらっしやいませ。“かきこみ処 さぼす亭”でございます。
こちらは、せんだいサポステメンバーが担当するコーナーです。
秋深し隣は何をする人ぞ。わたしは原稿書く人ぞ。
「きょうちゃん」がお送りいたします。

<今月のおしながき> ～書く書くしかじか、まる書いてちょん。～

こんにちは。秋の陽はつるべ落としと言うように、すっかり、陽が落ちるのが早くなりましたね。美しい夕空に見とれていると、あっという間に夜に包まれてしまいます。暗い夜道には充分注意しましょう。

さて、今月は前もってお題があるので、それに沿って書きつづって行きたいと思います。そのお題とは、“「文章を書く」ことは、自分にとってどういう意味があるのか”――。

書くことは自己表現のひとつ、として考えると、ほかの自己表現の方法として、“話す”が挙げられます。“書く”と“話す”、言葉を使う点では同じなのに、なんだかものすごく離れたところにあるように感じます。実際、わたしは、書くことは好きですが、話すことは好きではありません。

話すことが好きではない理由としては、そもそも話すことにさほど興味が無い・話すことに楽しさを感じない、というのが根底にあります。あとは自分の声が嫌い、他人の話を聞いている方が好き、空気が読めなくて俗に言うKYな発言をしてしまうから等々ありますが、いちばんは頭の回転が遅いということかもしれません。何か言われて、「あれ？こういうときどう返したら良いんだろう」と、あれこれ考えているうちに話題が次に移ってしまっていることがよくあります。切り返す瞬発力が無いのです。ディベートだったら、相手に意見を押し通されていることでしょう。

その点、書くことは、時間が許す限り考えることができます。頭の中にある言葉を、整理させることができます。ここが、わたしの思う、書くことの良いところです。話すことが短距離走に似ているとしたら、書くことは長距離走に似ていると思います。

本題の、わたしにとっての文章を書くことの意味ですが、うーん、本当のところは考えてみてもよく解りません。ただ、自分を表現したいから書くのではなく、書いた結果それが自分の表現につながっているような感じです。誰かに何かを伝えたいから書く、よりも、自分で自分の考えていることは何かを知るために書くことの方が明らかに多いです。

ウェブサイトの1種に、ブログというものがあります。わたしは複数のブログを、ほぼ毎日、私的に日記的に利用しています。どれも違う内容で更新していますが、ブログを読んでもいただいた方の心に何か一言でも残ってくれたら……、なんてことはさらさら考えていません。自分の中から出てくる言葉を、悪く言えば淡々と書き殴っているだけです。そうやって書くことにより、自分が今感じている気持ちを知り、それを認める作業をしています。なにもウェブ上で公開しなくても良いじゃないかという話しではありますが、自分にとってウェブ上の方が利用しやすいのでそうしています。

書

自自分を表現することを目的に文章を書くのは、難しいことです。それは、自分を表現するために話すのが難しいのと同じことだと思います。いずれにせよ、自分が思っていることは何か、を自分で理解していないことには、自己表現というのは出来ないのではないのでしょうか。だとしたら、話すことが好きなのと書くことが好きなのとは、それほど大きな違いはないような気がします。

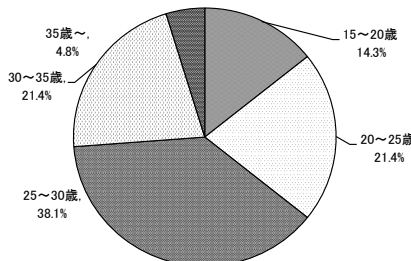
いずれにせよ、言葉を投げ放つのではなく、受け取る側のことを考えなくてははいけません。受け取る側が不快な気分になったり、傷ついてしまうような言葉の使い方は良くないです。言葉選びは慎重に。

といったところで、今月の “かきこみ処 さぼす亭” はお開きです。
ありがとうございました。

せんだいサポステDATA (平成21年10月16日現在)

登録者数 280名 (男女比は6:4)
相談件数 2777名 (1日平均 5.0名)
イベント参加者数 2796名 (1回平均 6.7名)

登録者の年齢をみると、本年度は20代後半の割合が最も多くなっています。(右グラフ参照)。
「職業経験有り」は7割以上で、その形態は、正社員、派遣社員、アルバイト、日雇い派遣など様々です。



編集後記

今月号より登場したこの「編集後記」。担当スタッフが日頃感じたことなどを通して、せんだいサポステの素顔を別の角度からお伝えします。

私たちは毎日多くの利用者の方と、“これから”について共に考え、行動しています。と同時に「まだせんだいサポステを知らない方」に知っていただけるように、「サポステを経て社会へ巣立った方」にも何かの支えになればと、常に考えています。

利用者の皆さんがここで過ごす時間は、「履歴書には書けない時間」かもしれませんが、「神様から与えられた充電期間」とも言えます。この時間が少しでも意味あるものになるよう、これからも頑張っていきます。(松井)